

災害廃棄物処理支援員制度 (人材バンク) 支援報告 (広島県坂町)



令和4年1月19日(水)

- ・支援者 : 広島県坂町 西谷 伸治
- ・支援期間 : 9月16日～(延べ6日間)
- ・支援先 : 北広島町 町民課

災害廃棄物処理支援員の活動実績

- 平成30年度7月豪雨で被災し、災害廃棄物処理を経験した坂町職員が北広島町で支援活動を実施（9月～12月の間、延べ6日間）



支援内容

財務会計事務（予算・契約事務等）

被災住民への対応（土砂撤去範囲）

公費解体・費用償還受付事務

仮置場の原形復旧（復旧範囲）

災对本部会議で状況説明（人員配置）

災害報告書作成業務

主に上記の内容について助言

受援先のニーズを把握

分からないことを聞き出す

今後のスケジュールを把握してもらう

必要なことは何かをお互いに確認

災害廃棄物処理事業で何が行えるのかを理解してもらう

全庁的な災害廃棄物処理の認知

過去の自らの体験だけを話して
理解してもらうだけでは不十分

支援時に留意した事

応援部隊が用意できるか

担当者のメンタル耐性を見極める

坂町で上手くいった事例の紹介

(安価な処分先の紹介・査定時の話術)

坂町で苦労した事例

(公費解体・費用償還の基準・受付体制)

被災自治体に寄り添った支援や助言
県補助金担当者とは違うスタンスで

受援先の反応

- 同規模自治体同士のため好意的
- 説明時には友好的に聞いてくれた
- 支援後半は自らが質問

災害査定等に向けて
仲間意識を持ってもらう

支援した結果

- ・当初想定したよりも報告書の完成度が上がった（支援町）
- ・ほぼ満額査定が通った（4万円減）
- ・今回の支援がなかったら、今の資料はできていなかったと思う（受援町）
- ・大きな災害が初めてだったので、支援をいただいて心強かった（受援町）

長期間の支援で支援自治体
が当事者意識になる

人材バンク制度での気づき

- ・ 県補助金担当者が同行し、長期間支援することで資料のクオリティが向上
- ・ 県補助金担当者への支援
- ・ 支援により、受援自治体が責任感を持てるか
- ・ 制度を利用すべき自治体の選別

支援者・受援者がWIN-WIN

今後の人材バンク制度について

- 人材バンク登録者の資質の見極め
- 知識のUPDATEが必要
- 発災の段階で人材をピックアップ
- 要請でなくプッシュ型で
- 支援で自らの能力向上

受援者が支援者へ

平成30年7月豪雨災害
に対する皆様からの
温かいご支援・ご協力
ありがとうございました！

